

※教材は各学校でアレンジしてご利用ください。

授業科目名	解剖生理学	単位数	4	対象学年	1	講師	大分大学医学部看護学科教授 清村 紀子
科目名の英文	Human Anatomy						
授業のねらい	<p>看護学は、生活行動が人間の生命活動に繋がる営みであるとの認識に立つ。従って、人々の生活行動を支援する看護を実践するには、人間の生活行動を支えるからだはどのような仕組みをもち、その仕組みをどのように機能させているのかについて、生命活動との繋がりの中で理解する必要がある。こうした観点から、本科目は、①生活行動を支えるからだの仕組みと機能に関する知識を修得する、②生活行動と生命活動（生きていること）との繋がりに関する知識を修得する、③疾病や障害、加齢による生命活動への影響や生活行動の変化を看護の視点で捉え理解する、という3点を主眼にからだに関する基礎的知識修得をねらいとする。人体の「形態・構造」と「機能」は不可分であることから、人間の生命活動に関する知識体系として位置づけ、総論、各論として学修を深めていく。</p> <p>本科目の受講を通して、生命の尊厳についての考えを深めるとともに、看護を学問的に探究していくための礎を築いていくこともねらいとしている。</p>						
学生の皆様へ	人体の形態・構造と機能の関連性及び系統的側面から人体の活動のしくみを学ぶ。						
具体的な到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ホメオスタシスを構成する重要な要素について説明できる</li> <li>2.細胞の代謝活動について、細胞の構造と機能・細胞膜での物質の移動・ホメオスタシスとの関連で説明できる</li> <li>3.からだの内と外とを隔てる皮膚の構造と機能を説明できる</li> <li>4.心臓・血液・血管の構造と機能および中枢神経と連動した流通機構（循環）のシステムについて説明できる</li> <li>5.外界やからだの内部からの膨大な情報が、中枢で分析処理され、必要な場所に指令が発せられることで生命・意思・行動がコントロールされている仕組みについて説明できる</li> <li>6.からだの内部からの膨大な情報が、中枢で分析処理され、ホルモンの作用によって生命活動がコントロールされている仕組みについて説明できる</li> <li>7.生命活動に必要な酸素を体内に取り込むための生活行動である「息をする」ための仕組みについて説明できる</li> <li>8.生命活動に必要な栄養素を体内に取り込むための生活行動である「食べる」ための仕組みについて説明できる</li> <li>9.生命活動の代謝の結果、体内で生じた不要な産物を体外へ「廃棄する」ための仕組みについて説明できる</li> <li>10.生活行動に必要なからだを支える骨格と、それを動かす筋肉の仕組みについて説明できる</li> <li>11.子孫を残すための仕組みについて説明できる</li> </ol>						
授業の内容	学修テーマ	学修内容					時間数
	イントロダクション	生きているとは…/生命活動を支える看護					1コマ
	ホメオスタシス	1.内部環境とホメオスタシス					4コマ
		2.ホメオスタシスを維持する主な要素①					
		3.ホメオスタシスを維持する主な要素②					
		4.ホメオスタシスを維持する主な要素③/ホメオスタシスの調節					
	構成する	1.個体内部の構成単位/からだの構造をあらわす専門用語					4コマ
		2.細胞の構造と機能①					
		3.細胞の構造と機能②					
		4.細胞間結合/組織					
	保護する	皮膚の構造と機能					1コマ
	流通機構	1.ポンプの役割を果たす心臓①					8コマ
		2.ポンプの役割を果たす心臓②					
		3.運搬経路である血管・リンパ管①					
		4.運搬経路である血管・リンパ管②					
		5.血液とその流れ（血流、物質の運搬）①					
		6.血液とその流れ（血流、物質の運搬）②					
		7.血液とその流れ（血流、物質の運搬）③					
		8.循環の調節機構					
	調節機構1（神経性調節）	1.神経性調節機構の概要①					14コマ
2.神経性調節機構の概要②							
3.からだの外からの外部情報を受容して中枢神経に伝える仕組み①							
4.からだの外からの外部情報を受容して中枢神経に伝える仕組み②							
5.からだの外からの外部情報を受容して中枢神経に伝える仕組み③							
6.からだの内外からの情報を処理し、指令を出す中枢神経とその末梢神経の構造と機能①							
7.からだの内外からの情報を処理し、指令を出す中枢神経とその末梢神経の構造と機能②							
8.からだの内外からの情報を処理し、指令を出す中枢神経とその末梢神経の構造と機能③							
9.からだの内外からの情報を処理し、指令を出す中枢神経とその末梢神経の構造と機能④							
10.からだの内外からの情報を処理し、指令を出す中枢神経とその末梢神経の構造と機能⑤							
11.からだの内外からの情報を処理し、指令を出す中枢神経とその末梢神経の構造と機能⑥							
12.情報をもとに中枢神経からの指令が効果器に伝わるシステム（体性神経系）							
13.からだの内部情報を中枢神経が処理し、諸器官へ指令をだすシステム（自律神経系）							
14.特殊な処理システム（反射）							

	調節機構2（液性調節）	1.液性調節の概要／ホルモンの内分泌様式／ホルモン分泌の調節の方法①	4コマ
		2.視床下部－下垂体系	
		3.内分泌腺①	
		4.内分泌腺②	
	酸素を取り込む	1.呼吸に関する概要	5コマ
		2.換気	
		3.ガス交換	
	4.ガスの運搬／呼吸の調節		
栄養を取り込む	1.摂食行動	7コマ	
	2.咀嚼し味わう／嚥下		
	3.食物の移送		
	4.消化・吸収①		
	5.消化・吸収②		
	6.消化・吸収③		
	7.消化・吸収④		
廃棄する	1.便の生成／便の移送／排便の調節機構	3コマ	
	2.尿の生成		
	3.尿の移送と貯蔵／排尿の調節機構／体液量の調節		
動く・支える	1.“動く”ための基本：姿勢を保つ	5コマ	
	2.身体を支える骨格		
	3.“動く”ことのできる筋組織：骨格筋収縮のメカニズム		
	4.しなやかな“動き”をもたらす関節①		
	5.しなやかな“動き”をもたらす関節②		
生命を継ぐ・紡ぐ	1.生命を継ぐための準備①	4コマ	
	2.生命を継ぐための準備②		
	3.生命の誕生		
	4.生命を育む		
生活リズムを整える	リズムについて／概日リズムについて／概日リズムと生体反応／睡眠と覚醒のリズム	1コマ	